

科目名	フレッシュャーズセミナー			ナンバリング	FYE111	授業形態	演習
対象学年	1	開講時期	前期	科目分類	必修	単位数	2単位
代表教員	瀬戸愛子	担当教員	久米美代子、鹿児島正豊、小林紀明、橋本知子、レンデンマン美智子、富岡節子、後藤恭一、鈴木直子、鈴木祐子、樺山定美、木村奈緒				

授業の概要	<p>大学の初年次教育の一環として開講される新入生全員を対象とした必修科目である。大学生としての学修のために必要な基礎的かつ汎用的な能力を育成することを目標とする。特に履修の仕方や学修の概念を学び、高校から大学へのスムーズな転換教育を行う。また、様々なスタディ・スキルズ(ノートの取り方、講義の聴き方など)を学び、さらにアクティブ・ラーニングを通して、「聞く・話す・調べる」技法を学修する。あわせて社会で通用する良き習慣を身につける。</p>						
到達目標	別紙参照						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	講義やグループディスカッションをする予定のテーマについては、事前に資料などで調べ、自分の考えをまとめて臨むようにしましょう。						
ディプロマポリシーとの 関連	【いわき明星大学のディプロマポリシー】						
	○	1. 幅広い教養と専門分野についての十分な知識を身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
	○	2. 人々の多様な考えやニーズを理解し、他者と円滑なコミュニケーションをとることができる。					
	○	3. 広い視野と判断力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態にも適切に対処することができる。					
	○	4. 地域社会の一員としての自覚をもち、地域に貢献できる社会人・職業人としてふさわしい関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
別紙参照	別紙参照

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
リフレクション・シート	○	○	○				20%
授業内・授業外レポート	○	○			○		50%
プレゼンテーション (ポスター・パワーポイント)	○	○			○		30%
授業態度・授業への参加			○	○			加点はしないが欠席は減点となることもある
出席			○	○			加点はしないが欠席は減点となることもある

課題、評価のフィードバック	<p>1.全ての提出物はmanab@IMU内に提出し、グループ担当教員がmanab@IMU内で適宜コメントする。</p> <p>2.発表用資料(ポスター・プレゼンテーション)はmanab@IMUに提出し、manab@IMU内や発表会で適宜コメントする。</p>
---------------	--

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	オリエンテーション ・コミュニケーション・スキル ・アサーティブ・コミュニケーション	1) 授業概要、進め方、到達目標、受講の心得を学ぶ 2) シラバスの見方・考え方、学修への活用方法を学ぶ 3) アサーティブ・コミュニケーションについて学ぶ	瀬戸
	第2回	PROG test	PROG test	瀬戸
	第3回	アカデミック・スキル1 ・大学生活のルール	1) 学生手帳を利用し、大学生活のルールとマナーについて学ぶ 2) SNSの利用方法について、看護師に求められる守秘義務も含めて学ぶ	橋本
	第4回	アカデミック・スキル2 ・勉強の仕方、試験の受け方、話の聴き方	1)メモ・ノートの取り方、レポートの書き方、レポート作成の書式、キーワードの使い方、レポート内の文献記載方法について学ぶ 2) インタビュー技法について学ぶ	富岡
	第5回	アカデミック・スキル3 ・調査に必要な情報を収集するスキル	図書館の利用方法について学ぶ	瀬戸
	第6回	アカデミック・スキル4 ・自分史・学習ポートフォリオ作成のためのスキル	manab@IMUの利用方法について学ぶ	瀬戸
	第7回	アカデミック・スキル5 ・グループワークに関連したスキル ・インフォメーションリテラシー(情報活用能力)スキル	1) グループワークの取り組み方、課題の意図を正しく捉え課題に沿ったテーマを設定する必要性について学ぶ 2) 収集した情報を信頼性、関連性、正確性、真正性などの点から批判的に分析・評価する必要性について学ぶ	後藤
	第8回	アカデミック・スキル6 ・グループワークに関連したスキル ・インフォメーションリテラシー(情報活用能力)スキル	1) グループワークの取り組み方、課題の意図を正しく捉え課題に沿ったテーマを設定する必要性について学ぶ 2) 収集した情報を信頼性、関連性、正確性、真正性などの点から批判的に分析・評価する必要性について学ぶ	後藤
	第9回	アカデミック・スキル7 ・プレゼンテーション・スキル	1) プレゼンテーションの構成や資料の作り方(PPT, ポスター)、話し方、効果的な質疑応答について学ぶ 2) プレゼンテーションの聞き方、質問の仕方について学ぶ	後藤
	第10回	アカデミック・スキル8 ・プレゼンテーション・スキル	1) プレゼンテーションの構成や資料の作り方(PPT, ポスター)、話し方、効果的な質疑応答について学ぶ 2) プレゼンテーションの聞き方、質問の仕方について学ぶ	後藤
	第11回	看護師を探究する1 看護師による講演	看護師の講演を聴き、「看護師」の活動について学ぶ	木村
	第12回	看護師を探究する2 自分の目標とする「看護師像」を考える	第11回の講演を参考に、「わたしの看護師像」を考え、グループメンバーと共有する	木村
	第13回	福島を知る1 テーマの選択	1) 第13回から第20回までの概要についてオリエンテーション 2) 福島県の被災と現在の状況について等、調査したいテーマを選定する	鈴木直
	第14回	福島を知る2 テーマの調査	テーマに関する情報を適切に収集し、収集した情報を整理する	鈴木直
	第15回	福島を知る3 講演会	福島県の放射線被害について講演を通して学ぶ	鹿兒島、レンデンマン、 鈴木祐、椋山
	試験	なし		

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第16回	福島を知る4 講演会	福島県の放射線被害について講演を通して学ぶ	鹿兒島、レンデンマン、 鈴木祐、嵯山
	第17回	福島を知る5 ポスター作成	グループディスカッションや講演会より学んだことをテーマに沿ってまとめ、プレゼンテーション資料(ポスター)を作成する	鈴木直
	第18回	福島を知る6 ポスター作成	グループディスカッションや講演会より学んだことをテーマに沿ってまとめ、プレゼンテーション資料(ポスター)を作成する	鈴木直
	第19回	福島を知る7 ポスター発表会	作成したポスターを使用し、プレゼンテーション(ポスターセッション形式)を行う	鈴木直
	第20回	福島を知る8 ポスター発表会	作成したポスターを使用し、プレゼンテーション(ポスターセッション形式)を行う	鈴木直
	第21回	看護師を探究する3 ・グループワーク	看護の担い手としてふさわしい資質とは何か、アサーティブ・コミュニケーションを意識してグループワークを行い、グループとしての考えをまとめる	木村
	第22回	看護師を探究する4 ・グループワーク発表	第21回でまとめたグループの考えを、全体で共有する	木村
	第23回	看護師国家試験について知る1 課題の明確化	看護師国家試験に関して、看護学部生として必要な基本的情報・知識を論理的に分析してまとめ、調査すべき課題を明確化する	小林
	第24回	看護師国家試験について知る2 調査の実際と発表準備	課題についてグループで調べ、プレゼンテーション資料(パワーポイント)にまとめる	小林
	第25回	看護師国家試験について知る3 全体発表と評価	作成したプレゼンテーション資料をもとに、プレゼンテーションを行う	小林
	第26回	看護師国家試験について知る4 全体発表と評価	作成したプレゼンテーション資料をもとに、プレゼンテーションを行う	小林
	第27回	PROG test 結果解説会	PROG test 結果解説会	瀬戸
	第28回	良き習慣を身につける1 学修の振り返り、グループワークと発表会準備	「大学を卒業し、看護師国家試験に合格し、地域で活躍する“自分が理想とする看護師”になるためにはどのような習慣を身につける必要があるのか」これまで学んだスキルを活かしてまとめる	瀬戸
	第29回	良き習慣を身につける2 発表会	第27回でまとめた資料(パワーポイント)をもとに、プレゼンテーションを行う	瀬戸
	第30回	良き習慣を身につける3 発表会	第27回でまとめた資料(パワーポイント)をもとに、プレゼンテーションを行う	瀬戸
	試験	なし		
授業の進め方	第1～10回までは主に講義と質疑応答とする。第11回以降はテーマにそってグループで話し合い、成果物としてまとめ発表する。			
授業外学習の指示	講義に関する資料はmanab@IMU内に提示するため、講義前に確認すること。講義内容は毎回復習することが望ましい。日頃より社会の様々な出来事に関心を向け、グループワークのテーマについては事前に調べ、自らの考えをまとめておくこと。  (授業外学習時間: 毎週 90 分)			

教科書	・教科書はない ・適宜プリントや資料を提示する
参考書	講義内で紹介することがある
参考URLなど	特になし
その他	・リフレクション・シート、授業内・授業外レポートなど全ての提出物はmanab@IMUにて提出する ・提出物はグループ担当教員がmanab@IMU内でグループ担当教員が適宜コメントする ・講義にはタブレットPCとiPadを必ず持参すること